



■尾根道を歩き、野面を横切り、谷を渡り、武甲山を垣間見ながら行くこのコースは、現代社会からかけ離れた気分を味わうことができます。22番童子堂は、元禄15年(1702)から明治43年までは府坂峠にあったので、江戸古道では現在の22番寺を素通りすることになります。そのため、22番を通る明治古道経由と江戸古道経由の23番行きの2コースとなりました。



札所20番岩之上堂

札所20番岩之上堂

岩上にたつ元禄16年(1703)の観音堂。乳の出が良くなる乳水場があり、境内は花で美しい。

札所21番観音寺

通称「矢之堂」と呼ばれる境内には聖観音石像、弁財天碑、芭蕉句碑などがある。

札所22番童子堂

江戸中期の観音堂で明治43年に移設。茅葺き屋根の仁王門と童子仁王、風神・雷神の彫刻がある。

札所23番音楽寺

市街地を望める高台にある。秩父事件の決起を告げた明和5年(1768)の梵鐘がある。



札所23番音楽寺

札所24番法泉寺

江戸中期の観音堂は、仁王門が組み込まれた珍しい構造になっている。

札所25番久昌寺観音堂

通称「御手判寺」と呼ばれる。弁天池と弁天堂があり、春にはカタクリと夏には古代ハスが咲く。